



佐土原ロータリークラブ週報



ロータリーを
祝おう

100年の歩み

2004-2005 年度 R1 テーマ

会長：林 厚 雄
副会長：岩 切 正 司
幹事：藤 堂 孝 一

会 計：柳 田 光 寛
会報委員長：宮 原 建 樹

第 876 回 平成 17 年 3 月 30 日 (水)

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. 食 事 の 時 間
3. ロータリーソング
「我らの生業」
4. 四つのテストの唱和
5. 会 長 の 時 間
6. 幹 事 報 告
7. 会 員 卓 話
8. 点 鐘

第 875 回の記録 平成 17 年 3 月 16 日 (水)

☆会長の時間 会長 林 厚雄 君

先日の14日に宮崎南クラブの30周年記念式典があり、私と藤堂幹事とで出席してきました。

参加者は 100名位でしたが、式典は大迫宮崎南クラブ会長の点鐘で始まり、三木ガバナー、津村宮崎市長など来賓として出席され、終始音楽が取り入れられていました。ピアノ演奏、管楽器演奏、そして、式典のなかで参加者全員で春がきた、青い山脈、上を向いて歩こう、など懐かしい歌を合唱するというユニークなプログラムでもありました。

我がクラブも20周年がすぐそこに来ています。早めに委員会を結成して、佐土原クラブならではの式典にして、20周年を成功させたいものです。

ロータリーの例会

ロータリーの各クラブの会員はそのクラブ区域内にある各職業の代表的人物が少なくとも一人ずつ選ばれることになっています。

このように選ばれたクラブ会員は週1回の例会に出席するよう義務づけられていますが、このクラブ例会は同業者の集まりと違って、いろいろ異なった職種の人が一同に集まり、互いに役職を離れて一人

の人間として接するわけですから、非常に開放的な雰囲気の中で腹を割って話をする事ができます。一時間の例会の訪問者の紹介、会食会長の時間、幹事及び委員会報告にあてられ、後半は教養プログラムとしての会員またはゲストによる卓話が行われます。

このプログラムは単なる興味本位のものでなく、主としてロータリーの問題についてのプログラムを準備することが奨められています。即ち、会員同士が一層深く知り合い、親睦が深まるもの、ロータリーを理解させるもの、広く各業界や地域社会を知ることのできるテーマが選ばれることになっています。

とにかく例会の一時間は楽しみながらロータリアンとしての訓練が受けられるロータリー独自の集会と言えます。

ロータリーでは自分の職業を通じて地域社会に奉仕することを第一としている。

ロータリーでは自分の職業に自信を持ち、仕事を正しく、一人ひとりが他人の立場に立って物を考え、使う身になって物を売り、買う身になって物を売り、受ける身になってサービスをする、即ち相手の身になって職業に励むよう訓練されています。自分の職業を通じて常に地域の為に何か良いこと、新しいことが出来ないかを考え、最善の努力をすることが大切です。

自分のことばかり考えてはしみよい社会を作ることではできません、お互い相手のことを考える思いやりの心が大切です。



津村宮崎市長

例会場：石 崎 浜 荘 0985-73-1913 事務局：〒880-0303 宮崎郡佐土原町東上那珂 10255
齊藤美喜代
例会日：毎週水曜日 12:30 ~ 13:30 T E L : 0985-30-5766 F A X : 0985-30-5788

幹事報告 幹事 藤堂孝一 君

1. 例会変更通知
なし
2. 4月2日・3日の佐土原町産業祭りの件で会員の紹介を計画しております。
顔写真の撮影をしますのでよろしくお願ひします、またロータリーの案内としてしおりの作成を中武会員にお願ひします。
3. ガバナー事務所より連絡
スマトラ沖地震の義援金 2730地区合計
3,056,516円(2月25日現在)

出席報告 出席委員長 梶田與之助 君

会 員 数	29名
例 会 出 席 者	19名
出 席 率	66%
メークアップ者数	4名
修 正 出 席 率	79%
欠 席 者 数	

フォーラム 会員増強副委員長 福井輝文 君

最近新入会員が入っていない。会員増強をしないと、会員が減るのは必至である。佐土原にも工業団地等が多いので、その辺からアプローチをしたほうが良いと思われる。

まず、リストアップをしてロータリー入会の案内状を出したり、商工会会員にロータリーに対する知名度、関心度、をアンケート様式で出してみたらどうか、脱退した会員に再度入会を奨めたらどうか。今年度会長は3名の会員増強を目標にしていますので、皆様の情報を期待しています。

国際ロータリー理事会はロータリー百周年に当たる2005年迄に会員数を150万人にするという目標を設定し、会員組織強化の必要性を再確認しました。然しこの野心的目標を達成するためには全ロータリー・クラブがロータリー地球遠征に一丸となって参加しなければなりません。そこで私は要請します:

各ロータリアンに対して:

- ロータリーの襟章を付けて会員としての誇りを示すこと
- 事業及び専門職務の仲間とロータリー会員としての特典について語り合うこと
- 事業、専門職務、地域社会等における優秀な指導者をロータリアンとして引込むこと

各ロータリー・クラブに対して:

- 各クラブは毎月少なくとも1名、年間最低純増5名の増強をすること
- その地域社会に適合する会員増強作戦を展開実行すること
- すべての新会員に対する包括的指導計画を提示すること
- 会員が新しい地域に移転する際、その土地のクラブに対して会員情報を提供すること

各地区に対して:

- 会員増強、退会防止セミナーを開くこと
- 地区内でロータリークラブの無い地域に新クラブを結成し、2001~02年度内に少なくとも3つの新クラブを加盟させると請け合うこと
- RI会員組織コーディネーターから提供される専門知識と緒資料を十分に活用すること
- 全地区内4クラブあたり最低1名から成る会員増強委員会を設置すること
- 各クラブが会員増強運動を適切に実施して毎月最低1名、年間純増5名を確実に達成するよう督励すること

次 回 予 告

☆4月3日(水)
観桜会 垂水公園

☆4月13日(水)
会員卓話

■ 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか